



防犯ボランティア養成アカデミー

守ろうよ
わたしの好きなまちだから
=研修会報告=

春日自主防犯パトロール隊 有村 和人
(NPO 愛・地球博VC 防犯Vリーダー)

◆春日自主防犯パトロール隊（加藤定雄隊長）では、町内外の防犯ボランティアに関心を寄せる50余名が、平成20年2月2日（土）午後1時〜4時30分、はるひ保健福祉センター多目的ホールに集まり、防犯ボランティア実践講座を開講しました。

◆この講座は、地域での防犯活動をより充実したものと考える方を対象に防犯ボランティア活動の具体例をわかりやすく解説する講座として愛

知県から委託を受けたNPO愛・地球博ボランティアセンターが、地元のボランティアと連携しながら行政との協調で、昨年9月より県下31箇所を実施したものです。

◆今回は、「守ろうよ わたしの好きな まちだから」をテーマに春日町内のボランティアで中核的な存在の方が、防犯のスキルアップをめざす熱い思いで集まりました。

「最近の犯罪・地域の犯罪事情や防犯対策」は、平成15年がピークで減少しつつも、

昨年の犯罪が、14万4千件発生しており、その解説と対策が森主査（県警から出向）からありました。とくに町内では、「自動車盗・車上ねらい」が多発しています。車から離れるときは、必ずロック、スベアキーを車内に残さない注意や盗難防止器具の利用も考える必要があります。引ったくりも増加しています。犯人は、オートバイや自転車を使い、被害者の9割が女性です。車道と反対側にバッグを持つ対策があります。

◆「学ぶ防犯知識」は、「わ

【プログラム】

- 主催者あいさつ
- 最近の犯罪について
「地域の犯罪情勢や防犯対策など」
愛知県県民生活部地域安全課 森憲治主査
- よくわかる！防犯対策講座
「わかりやすく、楽しみながら学ぶ防犯知識」
「すぐつかえる 護身術」
NPO愛・地球博VC ボランティア
- ワークショップ
「防犯ボランティア事例紹介」(DVD)
県内各地域で活躍するパトロール団体「グループワーク」
春日自主防犯パトロール隊
- 春日町内の現状と今後の町の対応
河合幹雄春日町長
- 修了証授与
神田真秋愛知県知事
(代理) 森主査

かりやすく、楽しみながら」を取り入れた、この防犯講座に特徴的なプログラムです。

そして、全てボランティアによる手作りです。イラストパネルや小道具を使いながら侵入されにくい街・家を作る防犯対策が、笑いも誘う寸劇として実演されました。「入り

やすく、見えにくい場所」を無くす、犯罪を起こしにくい環境を作ることが大切です。

住宅を狙った侵入盗の手法で、愛知県は、家人が居るのに侵入される忍び込み・居空きの発生件数が全国1位です。泥棒との鉢合わせで、身の危険もあります。家庭での防犯対策として、ガラス戸へ面格子取り付け、1ドア2ロック、

◆参加者から春日町内の防犯

情報を集約することができました。この情報を防犯ボランティア全員、または、字ごとで検討しながら共有する場とパトロールに活かす対策が求められています。

また、町長は、危険危惧を減らすために、できる所から整備すると話されました。

社員にボランティア参加を促す企業が増えている中、町担当外職員のボランティア参加の無い事実が町民と行政のこころのかい離の表れです。

ボランティアネットワークとそのインテリジェンスを活用する行政との協働で、安全で安心して暮らせる社会環境を整える活動が期待されます。



(撮影：服部宗久さん)